○R3年度の取組状況および今後実施する取組

添付資料1

具体的な取組の柱 事　項 具体的取組	主な内容	目標時期	古河市	結城市	龍ケ崎市	下妻市	常総市	取手市	つくば市	守谷市	筑西市	坂東市	つくばみらい市	八千代町	利根町	茨城県	国	地域住民
1）ハード対策の主な取組																		
■洪水を河川内で安全に流す対策																		
＜鬼怒川＞ ・決壊箇所の堤防整備 ・溢水箇所の堤防整備 ・漏水箇所の堤防整備 ・その他区間の堤防整備（大形橋より上流） ・その他区間の堤防整備（大形橋より下流） ・洪水時の危険性に関する緊急対策（河道掘削・樹木伐採） ・堤防決壊時の危険性に関する緊急対策（堤防強化対策） ＜小貝川＞ ・堤防整備等 ＜八間堀川＞ ・八間堀川の河川改修	・堤防整備、河道掘削、河川改修等	＜鬼怒川＞　H28.6末 H30年度 H28年度 H32年度 H30年度 R30年度から順次実施 R30年度から順次実施 ＜小貝川＞ 順次実施 ＜八間堀川＞ H29年度													●	関東地整■	
■危機管理型ハード対策																		
＜小貝川＞ ・天端の保護 ・裏法尻の補強	・天端の保護 ・裏法尻の補強	H29年度から順次実施 H29年度から順次実施															関東地整■	
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	H28年度から順次実施															関東地整●	
・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	●	○	■			
・水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	H28年度から順次実施	●	▲	●	▲	－	▲	―	●	○	■	●	▲	●	■	関東地整■	
・簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラの設置	・簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラの設置	H28年度から順次実施														■	関東地整●	
・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	H28年度から順次実施	●	―	●	―	●	―	―	―	―	●	●	―	―			
2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																		
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・　周知等																		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図（鬼怒川・小貝川・八間堀川）の公表	・鬼怒川洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・小貝川洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・八間堀川洪水浸水想定区域図の策定・公表	H28年度 H28年度 H29年度														●	関東地整●	活用
・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーション（鬼怒川・小貝川・八間堀川）の公表	・鬼怒川洪水氾濫シミュレーションの策定・公表 ・小貝川洪水氾濫シミュレーションの策定・公表 ・八間堀川洪水氾濫シミュレーションの策定・公表	H28年度 H28年度 H29年度														―	関東地整■	活用
・広域避難計画の策定・更新	・協議会の中で広域避難計画~~（案）~~を策定・更新	H29年度	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	●	関東地整■ 気象庁■ 地理院■	活用
・広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知	・想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定・更新する	H30年度から順次実施	●	▲	●	▲	●	●	●	●	■	■	■	●	■		地理院■	活用
・まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を検討していく	H28年度から順次実施	■	▲	▲	▲	●	▲	▲	■	▲	●	▲	●	▲			活用
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設の避難計画に水害を位置づけていく	H28年度から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	●	■	■	○	■		活用
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	・ハザードマップの周知のサポートとして、ハザードマップポーサルサイトや地図情報を提供する	H28年度から順次実施															地理院■	活用

□：令和2年度までの取組　■：令和3年度実施済み　■：令和3年度中に実施予定　■：令和4年度以降に実施予定

○：実施予定　、●：実施済み、■：実施済み（継続）、▲：検討中、―：対象なし

○R3年度の取組状況および今後実施する取組

添付資料1

具体的な取組の柱 事　項 具体的取組	主な内容	目標時期	古河市	結城市	龍ケ崎市	下妻市	常総市	取手市	つくば市	守谷市	筑西市	坂東市	つくばみらい市	八千代町	利根町	茨城県	国	地域住民
2）ソフト対策の主な取組　①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																		
■避難指示避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成																		
・避難指示避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・現在試行段階であるタイムラインを，検証し見直しを図っていく ・チェックリストを活用したタイムラインを国と協同し策定する	H28.5	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東地整■ 気象庁■	
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施、もしくは検討を行う	H28年度から定期的に実施	■	■	▲	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東地整■ 気象庁■ 地理院○	参加
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度から順次実施															気象庁■	活用
■防災教育や防災知識の普及																		
・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口を設置する	H28.6から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東地整■ 気象庁■ 地理院－	
・水防災に関する説明会の開催	・水防災に関する説明会を開催する	H28年度から順次実施	■	■	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東地整■ 気象庁■ 地理院－	
・水害記録の伝承	・自然災害伝承碑の情報を「地理院地図」に掲載する ・過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指す	R元年度から順次実施	－	－	○	－	－	●	－	▲	○	－	○	－	■	－	関東地整 気象庁 地理院■	
・教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも水災害の知識を身につけていただくための講習会を実施する	H29年度から順次実施	■	▲	▲	▲	■	▲	■	■	●	■	▲	▲	●	■	関東地整■ 気象庁 地理院－	
・小学生を対象とした防災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく	H28年度から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	●	■	■	■	関東地整■ 気象庁■ 地理院－	参加
・出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施	H28年度から順次実施									■		●			■	関東地整■ 気象庁■ 地理院○	参加
・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・プッシュ型による情報発信（洪水予報等）の実施	H28年度から順次実施													■		関東地整■	活用
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	・水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供	H28年度から順次実施															関東地整■	活用
・水害リスクラインによる水位情報の提供	・水害リスクラインによる一般への水位情報の提供	R2年度から順次実施															関東地整■	活用
■共助の仕組み強化のための取組																		
・防災部局だけでなく高齢者福祉部局についても、協議会への参加や協議会に関する情報共有を実施	・防災部局だけでなく高齢者福祉部局についても、協議会への参加や防災部局から協議会に関する情報提供を受けるなどにより情報共有を実施	R元年度から順次実施	▲	■	▲	■	▲	▲	▲	○	▲	■	▲	▲	▲	■		
・地域包括支援センターにハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット等を設置	・地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等のパンフレット等を設置	R元年度から順次実施	■	■	▲	■	■	●	■	■	■	■	■	■	■	－		活用
・地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施	・地域包括支援センター・ケアマネジャー等の日常勤務における防災に関する取組事例を共有 ・災害対応研修の場を活用し、ケアマネジャーへハザードマップ等の説明を実施 ・最新の防災・減災施策の説明や高齢者自身の災害・避難カードの作成に対する支援を実施	R元年度から順次実施	●	▲	▲	▲	■	▲	▲	▲	■	▲	●	●	●	■	気象庁■ 地理院－ 関東地整	参加
■災害を我がことと考えるための取組																		
・ハザードマップの訓練等への活用	・ハザードマップを活用した自主防災組織等による避難訓練の実施	R元年度から順次実施	■	▲	■	■	■	▲	■	■	■	■	▲	■	▲	－	気象庁 地理院－ 関東地整	参加
・マイ・タイムライン作成講座の実施	・マイ・タイムライン作成講座の実施	R元年度から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	●	■	■	■	■	■	■	気象庁■ 地理院－ 関東地整	参加
・地域の防災リーダーの育成	・地域の防災士等やマイ・タイムラインリーダーへの研修を実施	R元年度から順次実施	■	■	▲	○	■	■	■	●	■	●	■	■	■	■	気象庁■ 地理院－ 関東地整	参加
・水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施	・水防災意識強化週間に水防災に関するパネル展を実施	R元年度から順次実施	■	■	■	■	■	●	■	■	■	■	■	■	■	●	気象庁 地理院■ 関東地整	参加

□：令和2年度までの取組　■：令和3年度実施済み　■：令和3年度中に実施予定　■：令和4年度以降に実施予定

○：実施予定　、●：実施済み、■：実施済み（継続）、▲：検討中、－：対象なし

○R3年度の取組状況および今後実施する取組

添付資料1

具体的な取組の柱 事　項 具体的取組	主な内容	目標時期	古河市	結城市	龍ケ崎市	下妻市	常総市	取手市	つくば市	守谷市	筑西市	坂東市	つくばみらい市	八千代町	利根町	茨城県	国	地域住民
2）ソフト対策の主な取組　②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																		
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																		
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	H28年度から定期的に実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
・水防団同士の連絡体制の確保	・近隣の水防団の連絡体制の確保	H28年度から定期的に実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・毎年、国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加	H28年度から定期的に実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東 地整■ 気象庁■	参加
・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・利根川水系合同水防訓練及び鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加 ・水防管理団体が行う訓練への参加	引き続き定期的に実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東 地整■ 気象庁■	参加
・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・広報紙やホームページ等で広く募集していく	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			参加
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・地域の建設業者も組み込んだ水防支援体制の検討を実施し、構築する	H29年度から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
2）ソフト対策の主な取組　③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																		
■緊急排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施																		
・排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画（案）を作成	・排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画（案）を作成	H28年度から順次実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	関東 地整■ 気象庁○ 地理院－	
・排水計画に基づく排水訓練の実施	・排水計画に基づく排水訓練の検討および実施	H28年度から順次実施	■	■	▲	▲	■	■	▲	▲	■	■	▲	■	■	■	関東 地整■ 気象庁■ 地理院－	

□：令和2年度までの取組　■：令和3年度実施済み　■：令和3年度中に実施予定　■：令和4年度以降に実施予定

○：実施予定　、●：実施済み、■：実施済み（継続）、▲：検討中、－：対象なし